

I C T使用状況報告書

令和5年3月30日

事業所種別	介護老人保健施設	
導入する機器等	NDソフトウェア製 介護ソフト 「ほのぼのNEXT」 Apple製 タブレット 「iPad mini」	
I C Tの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ 否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
「L I F E」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和 4年 2月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
I C T導入による効果等	<p>ソフトウェアを運用し始めて1年が経過した結果、事務所内情報の連携が機能し始めた。導入以前に比べ、施設内の紙でのやり取りが減少した様に思われる。また、眠りSCAN上でのバイタル情報がソフトに収集される様になった。それとは別に記録業務及び請求業務においては幾つかの問題点が判明した。</p> <p>記録業務に関しては、現在「紙」で行っている記録物をソフト内にて再現が難しい書類がある点。記録自体は入力出来ても、ソフトの表示方法が悪く、紙の様に即時確認が出来ない、対象者の時系列及び内容の一括表示が出来ない等今後の改善に期待する形となる。</p> <p>請求業務に関しては、現場の記録を実績として吸い出す事がリハビリのみ可能となった。逆にその他の加算算定は記録との連動は無く、個別に設定しなければ請求に反映されない。この事もソフトの仕様との事で改善が難しい。</p> <p>現状、全てがソフトへの入力(記録)で完結する形にはならないので、施設側で改善出来る事はあまり多くない。</p>	
事業着手日	令和 3年 12月 10日	
事業完了日	令和 4年 3月 1日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。